

“年男”の抱負



坂の上の雲

かのえ
平成庚寅元旦

(株)フクダ
長岡秀治
(昭和庚寅元旦生)

新年あけましておめでとうございます。

全国技士会連合会が四国松山で開催されることを期に書き出したのでタイトルを「坂の上の雲」とし、青年のように夢を持ち、前をのみ見つめて歩む思いで綴ります。

今年の元旦を以って十干十二支を一巡りやっと還暦を迎える、人生の中間点に立ったような気持ちです。育ってくれた父母や恩師、お世話になった先輩や同僚など、60年間にお会いできた多くの人のお陰だと有り難く思います。

私の社会人のスタートはプロジェクトXの原点ともいえる黒部第4ダムへの思いから始まったと言える。就職初年度より長野県黒部近くの国鉄中央線の難しいトンネル工事。動く山、凍る風、背中で桜吹雪が舞うやくざな鉱夫、およそ斐川では考えもつかないことがでしたが、そのトンネルが艱難辛苦の上わずか1cmの誤差で貫通したときの喜びは何にも変えがたく一生涯を土木屋で送る序曲となりました。仕事が終われば完成したばかりの中央高速道にサバンナGTを乗り回し青春を謳歌した時代が思い出されます。

数年間トンネルを始め橋梁、地下道など鉄道土木関係の仕事に従事していたが、長男であること等により斐川へ帰ることになった。地元で仕事をするときは地域の方々と一緒に働き、共に完成の喜びを知ることで地域に貢献している実感がいたしました。

まさか経営者になるとは思いもしなかったが、40歳頃から先代社長に連れられて代官町へ通う日が増えてきた。この頃から本当の私の人生が始まったような気がします。口下手な私が人前で挨拶をし、業界のお世話をさせてもらうようになって、会社も私自身も皆様方のお陰で成り立っていることが改めてよく判りました。我々の仕事には何が必要か思うようになり、手元にあった新渡戸稲造の“武士道”的本を後のバイブルとした。

「武士道はその表微たる桜花と同じく、日本の土地に固有の花である」の一文で始まる本でした。そこには日本における道徳とは外国人のもつ宗教と同じで国民の模範であり、日本人として歩むべき道であると教えた。また道徳を教える一つの道として茶道がありそれは総合芸術でもあるともあった。あれから20年、茶道のなかに感謝の意を見出し、私の供としている。

皆様は仕事では野武士のように「強く」生き成功を治め、現在もご活躍のことと存じます。また社会生活ではある程度の淨財や心のゆとりを元に高楊枝を銜えた武士のように「優しさ」を以って社会奉仕に活躍されているはずです。

「男は強くなれば生きて行けない 優しくなければ生きる価値がない」

この言葉を座右の銘として、生きる価値を求める日が続きます。

我々業界がいつまでも社会貢献が出来る団体であることを祈念し年頭とします。

“年男”の抱負



年男の抱負

(有)神門組
手銭弘明



新年明けましておめでとうございます。

西暦2010年、日本経済は緩やかに持ち直しているという観測もありますが、地方においてはその実感は乏しく、依然として経営環境は厳しい状況が続くか、もしくはさらに悪化するのではという不安から脱却できないというのが現実ではないでしょうか。

今年は寅年、私事ですが、四回目の年男を迎えるに至りました。月日の経つ早さとわが身の成長の遅さ（心のこと）を痛感する昨今です。身のほうは着実に成長し、今や減退を迎えつつあり、同世代と話すとき、最近目が悪なっての、おまえも老眼かあ、おら歯も悪なったわあとといった話しが当たり前に出てくるようになりました。振り返ると、浦島太郎が玉手箱を開けたように、あつと言う間にこの年になっていたという心境になりますが、まだまだ四十、五十はハナタレ小僧、人生これから頑張ろうと新年の誓いを新たにしているところです。

さて、我々の業界を取り巻く環境といえば、不況といわれて幾久しく、デフレという避け難い渦にのみ込まれ、その渦潮は次第に加速していき、一所懸命もがいてようやくその場に留まれるといった状況が続いている。そこから抜け出すには、鯉のように滝を登る力を持つか、いっそのこと、とことん巻き込まれて身ひとつになって抜け出しか。（なんと辛い状況でしょうか。）100年に一度とか、いまだかつてないといった言葉で形容されるのも少子高齢化となり、尻すぼみ的な状況で何となく明るい要素が見いだせない不安定な状態だからではないかと思います。

しかし、安全安心の確保には、建設業が培った技術や経験的技能は絶やしてならず、世代を超えてそれぞれの地域で継承されて然るべきものと思われ、また継承されなければその確保は到底おぼつかないと考えます。

親が子供に語り継ぐように、故きを温ねてみるといろいろと教えてもらえるかも知れません。かつてこんなことがあったとか、いやいやそんなもの序の口ですよと。年男は、節分の時の豆まき係が役割とか。まめなが一番、まめなが一番と豆まきでもしましょうか。何が言いたいか訳がわからなくなってしまったところで、正月の不撲生もほどほどに、今年も気分を新たに、笑顔で安全第一を心がけ頑張りたいと思います。

本年もよろしくお願い致します。



技士会先進地視察報告

大福工業(株)
妹尾一臣

島根県土木施工管理技士会出雲支部では、建設工事の専門知識及び技術習得を目的とした工事現場視察を例年実施されています。今年度は、国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所発注の「尾原ダム工事」現場の視察が平成21年10月14日に行われ、約50名の技術者が参加されました。私は、技士会役員と技術者の両方の立場で参加しました。

尾原ダムについての概要説明を尾原ダムPR館及び展望台において、国土交通省中国地方整備局斐伊川・神戸川総合開発工事事務所の今岡課長様から詳しく、丁寧な説明を頂きました。

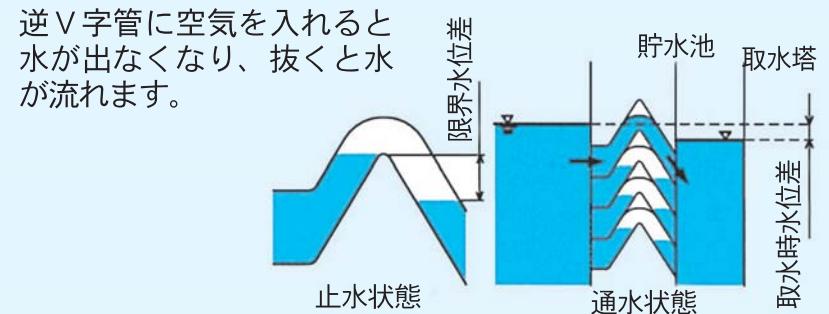
尾原ダム本体は、平成17年11月に転流工、平成19年8月に基礎掘削を終え、同年9月からダム本体のコンクリート打設を開始し、平成21年10月現在で全体打設量66万1千m³（高さ90m）の内、早くも約58万m³（約88%）まで進捗していました。

尾原ダムは、斐伊川・神戸川の治水対策（3つの柱）の重要な1本の柱であり、洪水調節・河川環境の保全・水道水の供給が目的で事業が行われており、新技術の導入によるコスト削減のための取り組みの他、環境保全への取り組みとして行われるイベントでは、斐伊川上流・下流の小学校児童が共同作業でどんぐりを竹ポットに植えつける苗づくりや工事現場に森づくりのための植樹等が行われ、交流の輪が広がっています。

視察中に最も興味を引かれたのが、尾原ダムのコスト削減及び維持管理の省力化を図るための新技术でした。特に新技術の連続サイフォン式取水設備は、鋼製ゲートや開閉装置を使用せず、空気の出し入れによる目に見えない新しいタイプのゲート方式が採用されていたことが印象に残りました。

今後も専門知識及び技術習得のため、最新の技術を駆使した工事現場・産業・研究所等の先進地に足を運びたいと思います。

連続サイフォン式取水設備



尾原ダムPR館での概要説明



展望台から見たダム本体工事

どんなダムができるの？

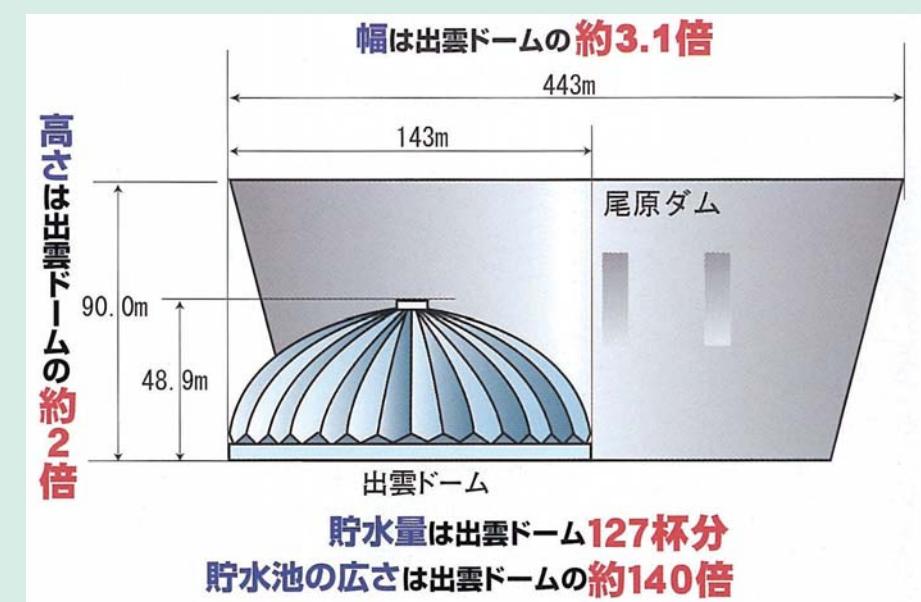
<http://www.cgr.mlit.go.jp/hiikawa/obara/donnna/page/donnna.htm>
(HPアドレス)より

尾原ダムの場合、ダムに流れ込む水の量が300m³/sに達するまでは流れ込む水の量と同じ量をダムから放流します。300m³/sに達した後から尾原ダムの計画最大放流量の900m³/sとなるまでは流れ込む水の量に一定の率をかけた量の放流を行い、計画最大放流量の900m³/sに達した後は900m³/sの一定量で放流します。



●ダムの高さ

尾原ダムの堤高（堰堤の高さ）は90.0メートルあります。





経営研修会に参加して

(社)島根県建設業協会出雲支部
原 佳文子

去る平成21年11月18日、心理カウンセラー野坂礼子さんの「笑顔と安全」の講習（出雲支部HPに掲載中）を聴講させていただきました。

言葉のエネルギーと笑顔の効果について、楽しくお話しして下さい、何に対してもマイナス思考の私にとっては、とても参考になることばかりでした。

「ありがとうございます」という言葉には、運気を上げる効果があるそうです。確かにこの言葉は何度言っても、言われても心地よいものです。仕事でも家庭でもいつもこの言葉を気持ちよく言えることで、自分自身も周りの人たちの気持ちも明るく出来るような気がします。

今、私は子育て真っ只中であり、時間に追われる毎日を送っています。正直、気持ちの余裕なんてありません。子供たちに対しても「何やってるの！」「ダメじゃない！」などとマイナスの言葉ばかり投げかけています…。当然子供も反発してきます。それでまた叱る…。悪循環が重なり、「なんで私ばかり～…」と自分の殻の中に閉じこもっている私でした…。

この日、子供たちに「よくやったね！」「すごいじゃない！」など…プラスの言葉をたくさんかけてみました。（意識的にですが。）

当然、子供たちはいい顔で笑ってくれ、甘えてきました。「ママ大好きだよ」なんて言われた時には親バカぶり丸出しでしたが（笑）イライラする自分は無く寝るまでの時間をとても気持ち穏やかに過ごせました。

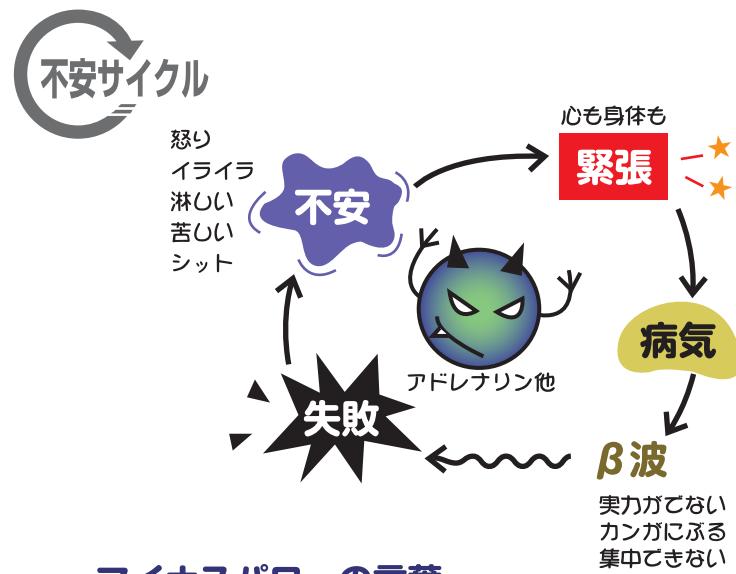
言葉一つでこんなに変わるものなんですね。いつも頭では分かっていても…。の結果になってしまふ私でしたが、この穏やかさが続き、良い親子関係を築けるように、「ありがとう」と言う事をまずは実践していこうと思います。

またそれは子育てだけでなく、仕事の場においても言える事だと思います。笑顔で明るい挨拶、笑顔で応対することで、外部からの印象はもちろん、職場内もプラスの言葉が飛び交えば明るくなります。そういうことからも職場としてのレベルアップにも繋がるのではないでしょうか。自らがプラス思考になることで周りにも良い影響を与えられるように頑張りたいと思います。

今年一年、「笑顔」と「ありがとう」で皆さんの運気がUPし、健康で幸せな生活が送れますようにお祈りいたします。

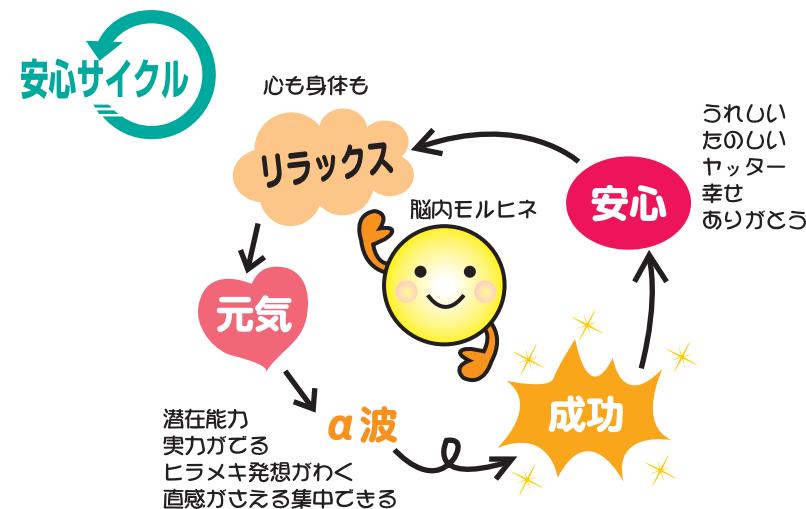


笑顔のエネルギー



マイナスパワーの言葉

忙しい、疲れた	大変だ、マイッタ
難しい、つまらない	困った、苦しい、いたい
できない、いやだ、困難だ	つらい、腹が立つ
だめだ、お金がない	失敗した、やりたくない、しんどい
まずい、もう年だ	気持ちが悪い、さみしい
きたない	せつない、イライラする
どうしよう、バカだ	どうせ私なんか
不幸だ	



プラスパワーの言葉

充実している、簡単だ	やれる、できる、気分がよい
できる、楽だ	イケる、おいしい、明るい
お金がある	美しい、すてきだ、かわいい
まだ若い、大丈夫さ、やってみよう	愛している、愛されている
幸せだ、元気だ	やってみよう、さわやかだ、気持ちいい
楽しい、キレイだ、素晴らしい	おもしろい、利口だ、ラッキー、ハッピー

マイナス思考のころの私



これからどうしたらいいの。
子供を食べさせないかん。
私はダメな人
主人が悪かったのよ……。
またうまいこといかないわ。
ああ、今日も会社で叱られる~。
楽しくない。
真っ暗や。
売れるわけないわ。
もう死んでしまいたい。

プラス思考になった私



私は楽しい。
未来は明るい。
私は売れるセールスマン。
笑顔がいっぱい。
誰にでも大きな声であいさつをする。
自信がある。
うきくいく。
成功するやん！
運がよくなつたやん！
みんなのおかげ！